

# 「東京都防災対応指針」の概要

## 1 防災対応指針策定の背景

### ○防災対応指針策定の趣旨

東日本大震災の教訓等を踏まえ、今後の東京の防災対策の方向性と具体的取組を示す。

### ○東日本大震災に対する基本的認識

想定外の巨大地震、大津波に加え、原子力発電所事故も重なった未曾有の複合的災害  
遠隔地の地震が東京にも深刻な影響を引き起こす。

### ○首都東京の防災力向上の必要性

従来にない災害の教訓を踏まえて、改めて、防災力を一層向上し、首都直下地震等への備えを固め直す。

## 2 東京を襲う地震像

○首都直下では、陸側のプレートの下に、東から太平洋プレートが、南からフィリピン海プレートが沈み込んでいる。

また、これらのプレート境界では、プレート先端が跳ね上がることでM8クラスの海溝型地震が発生

○南関東では、200～300年間隔で発生する関東大地震クラスの地震の間に、M7クラスの直下型地震が数回発生すると想定

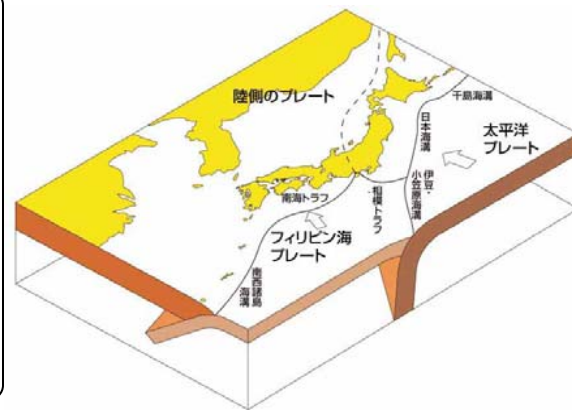
○首都圏以外の地震による電力供給停止や物流の途絶などの連鎖的被害の発生も懸念される。

### < 首都直下地震 >

東京湾北部地震 (M7.3)

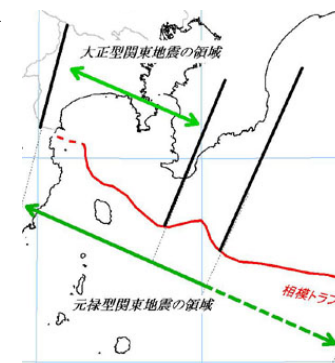
プレート境界多摩地震 (M7.3)

など



### < 海溝型地震 >

大正型関東地震  
(M7.9程度)  
元禄型関東地震  
(M8.1程度)  
など



### < 活断層で起こる地震 >

立川断層帯地震  
(M7.4)

など



### < 連鎖的被害が懸念される地震 >

東海・東南海・南海連動地震、東北地方太平洋沖地震、新潟県中越沖地震など

こうした地震によるリスクに加え

台風や高潮などの自然災害が複合的に発生する可能性も否定できない。

こうした危険性を見据えた上で、災害への備えを固め直すことが必要